

## 全体指導計画

### 1.主題

インターネットを使って適切な情報を収集しよう

### 2.指導目標

パーソナルコンピューター（以下パソコン）の普及はめざましいものがある。学校教育においても同様のことが言え、パソコンの活用は教育効果の向上にも大きく貢献している。情報収集においては、現在一番よく利用されているのがインターネットによるものである。そこで、インターネットによる情報検索・収集の基本を身に付け、著作権など情報モラルや情報検索・収集における注意点を理解する力を育成したい。

### 3.指導計画

全5時間

- 第一時 本校におけるパソコン室の使い方
- 第二時 情報の検索とサーチエンジン
- 第三時 情報モラル（おもに著作権について）
- 第四時 多くの情報から、適切な情報を選ぶ（本時）
- 第五時 1枚の用紙に入るよう編集する

# メディアリテラシー

- 1 本時の位置 日本語入力やインターネットでの検索が、ほぼ一人でできること。
- 2 指導目標 インターネットから自分の求める情報を見つけ出す。  
Web ページ上の情報が正確なものであるかどうか確かめる。
- 3 目標行動 サーチエンジンの違いを理解し、適切に使うことができる。  
Web ページ上の情報が信頼できるものであるかを確かめることができる。
- 4 留意点 検索内容の信頼性は、何を基準に判断できるか考える。
- 5 準備 よく使われているサーチエンジンの違いを調べる。  
感想や URL などを入力するシート。

## 6 展開

	学習内容	学習活動	留意事項	評価基準
導入	・それぞれのサーチエンジンに接続する。	・電源を入れログオンする。 ・ブラウザを立ち上げる。	・生徒(各列)ごとにサーチエンジンを指定する。	
展開	・指示された項目について検索を始める。  ・信頼度を判断する	・求める情報を見つけ出す。 ・シートに必要事項を入力する。  ・生徒は、そのWeb ページを選んだ理由を発表する(全員が発表する)。  ・転送された信頼性の低そうなWeb ページの画面の内容を見て、感想を所定のシートに入力する。	・教材配付機能を使ってシートを送る。  ・生徒が調べたWeb ページの画面を転送する(プロジェクターも使う)  ・信頼性の低そうなWeb ページを示し、その問題点を考えさせる。(適当なものがないければ、事前に調べておいたWeb ページを示す)	【技能】 適切な情報を短時間で検索できる。  【知識理解】 情報の真偽を判断できる。
まとめ	・本時の学習ポイントを確認する。	・入力したシートを上書き保存する。	・生徒の上書きしたファイルを授業終了後、回収しプリントアウトする。	【知識理解】 情報の真偽を判断できる。